

墨田区企業の“売るお手伝い”

「はじめての女性用シェーバー」を、iU女子学生が販売戦略提案



iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）の「すみだマーケティングエージェンシー」（代表・富澤豊 教授）が、墨田区に本社がある「株式会社板垣製作所 代表取締役・板垣道勝」に、初めて自社ブランドとして販売した女性用シェーバーの販売促進策の提案をいたしました。本製品は5月下旬より、通販サイト「RERACO」などで販売しております。

墨田区発の「女子向け はじめてのシェーバー」

墨田区向島に本社を構える株式会社板垣製作所は、創業 67 年。これまでは OEM 製品を中心に製造・販売をしてきましたが、今般自社オリジナル製品の製造・販売を開始しました。その第 1 弾が、「女性用電動シェーバー」です。対象を低学年女子に向けているため、板垣社長も販売方法を模索していたところ、iU「すみだマーケティングエージェンシー」の活動を知りました。

相談された iU 富澤豊教授においても、製品が低学年女子向けであるため、女性が担当した方がよいとの判断から、荒瀬美穂子、曾我百合菜、竹川希歩（いずれも 4 年生）の 3 名が、プロジェクトメンバーとして集められました。

今回の「女性用電動シェーバー」は、板垣代表の奥様がデザインした「ストップペイル」が採用されており、これまでにない印象を与える製品です。3 名のメンバーは、販売のターゲットとなる層へのインタビューなど独自調査を重ねました。1 か月ほどかけて提案書を完成。5 月上旬、iU 墨田キャンパスにて板垣社長にプレゼンを行いました。

プレゼンでは、販売ターゲットの確認や、ネーミング、パッケージを女兒にもわかりやすいものに変更することを提案。同時に、試作品も呈示いたしました。これらの案は次回の増産時に導入される予定です。同製品は、通販サイトである「RERACO」にて販売されており、今後一般販売店でも、順次展開していく予定です。

【RERACO】

<https://www.amazon.co.jp/s?k=RERACO>



【現行品】

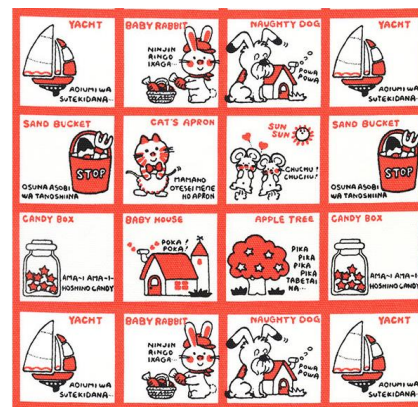


【改定案】



【ストップペイル】

包装用品・店舗用品の「シモジマ」で販売する包装紙のデザインとして、1970年代に板垣順子氏が手がけました。ファンシーショップや文房具店で大人気となり、同社を代表するロングセラー商品となりました。また2020年に復刻版として再デビューしたところ、昭和レトロな感覚が若い女性たちにも人気となり、コンビニ向け食品をはじめ、ストップペイルをあしらった数々の商品が、今また販売されています。



【すみだマーケティングエージェンシー】

モノづくりの一大拠点である墨田区周辺の企業が生み出した製品の「売るお手伝い」をすることを掲げ、2024年1月よりiU 富澤ゼミを中心として活動開始。本案件のほか、以下のような案件が現在進行中です。

- 児童館向け遊具の販売促進策
- 納涼アイテムの販促ポスター制作
- 自社オリジナルブランドのポジショニング戦略検討

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数42、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。

連携企業800社、客員教員1000人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等86プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う「eスポーツコース」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■学長



京都大学特任教授、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiPI協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：744名 ・専任教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■ 学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

① 論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

② 情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③ 国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート
- ・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp